

大学名等	東北大学大学院歯学研究科
教育プログラム・コース名	次世代腫瘍歯科口腔外科医コース（正規課程）（テーマ②）
対象職種・分野	歯科医師・顎顔面口腔腫瘍外科
修業年限（期間）	4年
養成すべき人材像	<ul style="list-style-type: none"> <li>・口腔がん発症予防に寄与する新規エピジェネティック診断と先制治療の開発、希少がんである口腔がんに対するマルチオミクス解析による個別化医療の開発に関する研究者</li> <li>・基礎から臨床研究まで俯瞰できる大学・研究機関の研究者</li> <li>・AYA世代口腔がん、超高齢者口腔がんに対する医療の適正化と機能改善に対応できる口腔外科医</li> <li>・がん拠点病院でライフステージごとの多様なニーズ（AYA世代、がん緩和、終末期）に対応できる歯科口腔外科医</li> </ul>
修了要件・履修方法	必修科目及び選択科目を30単位以上修得し、かつ、必要な研究指導を受けた上、博士論文を提出し、その審査及び最終試験に合格すること
履修科目等	<p>&lt;必修科目&gt;臨床腫瘍学特論Ⅰ、Ⅱ*（4単位）、臓器別臨床腫瘍学特論（4単位）、次世代腫瘍予防学特論（2単位）、論文研究（10単位）</p> <p>&lt;選択科目&gt;歯学特論（9単位以上）、歯学演習（6単位以上）、実験技術トレーニングコース（6単位以上）、疫学研究トレーニング（2単位）、生命倫理（2単位）、研究医養成特論（2単位）、研究推進・研究倫理ゼミ（6単位）、がんプロ合同セミナー#（2単位）ほか。</p> <p>*マルチオミクス解析、予防医療・先制治療（がん予防の推進・新たな治療法）、ライフステージ（顕在化している課題）に対応</p> <p>#遺伝子診療部教育セミナー、希少がん・難治がんカンファレンス、がんセミナー等を含む</p>
がんに関する専門資格との連携	がん治療認定医（歯科口腔外科）（日本がん治療認定医機構）、口腔外科専門医（日本口腔外科学会）、口腔腫瘍専門医（日本口腔腫瘍学会）、口腔科学会認定医（日本口腔科学会）
教育内容の特色等（新規性・独創性等）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・次世代がん研究者・医療従事者を養成する講義・実習内容。</li> <li>・希少がんである口腔がんの治療成績向上を目指した予防医療・新規治療・個別化医療の開発を研究テーマとする。</li> <li>・Head&amp;Neck Cancer Boardでスキルアップ。</li> </ul>
指導体制	<ul style="list-style-type: none"> <li>・東北大学大学院歯学研究科 顎顔面口腔腫瘍外科学分野および東北大学病院 歯科顎口腔外科の教授以下の教員</li> <li>・耳鼻咽喉科・頭頸部外科、放射線治療科、形成外科、緩和医療科、東北メディカルメガバンク等の各々の領域の専門医が連携して指導する。</li> </ul>
修了者の進路・キャリアパス	<ul style="list-style-type: none"> <li>・東北地方のがん診療連携拠点病院に勤務し新ニーズを普及・啓発</li> <li>・3年後に口腔外科認定医取得、その3年後に口腔外科専門医取得、その1年後にがん治療認定医（歯科口腔外科）取得</li> <li>・ニーズに応じた個別化がん医療の開発・普及を担う大学等の臨床腫瘍学研究者</li> </ul>